

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2024年度)

| | | | | | | | | | | |
|----------------|---|--|------------|------|-------------|----|---------|---------|----|-----|
| 専門分野区分 | 専門エクステンション | 科目名 | ポートフォリオ指導A | | | | 科目コード | S3535J1 | | |
| 配当期 | 前期 | 授業実施形態 | 通常 | | | | 単位数 | 2 単位 | | |
| 担当教員名 | 本間しのぶ | 履修グループ | 選択 | | | | 授業方法 | 演習 | | |
| 実務経験の内容 | 印刷会社や広告代理店、デザイン事務所に勤務。2次元のデザインからまちづくりまで、幅広い案件に携わる。2019年より全国展開のパソコンスクールにて講師を務める。2022年よりフリーランスのデザイナー・講師として活動中。デザイナーとしてこれまでの実体験に基づいた知識を、講師として学生に寄り添った指導を目指す。 | | | | | | | | | |
| 学習一般目標 | 就職活動に必須のポートフォリオに掲載する作品数を増やし、ポートフォリオを完成させる。 | | | | | | | | | |
| 授業の概要および学習上の助言 | 希望する就職先に合うようなポートフォリオ制作ができるようになる。 自分の意見を持ち、意図を持って、モノづくりに取り組むことができるようになる。 | | | | | | | | | |
| 教科書および参考書 | 参考となるWebサイトのURLを共有 | | | | | | | | | |
| 履修に必要な予備知識や技能 | ポートフォリオに掲載する作品の制作ができること | | | | | | | | | |
| 使用機器 | 6A教室の機器、他 | | | | | | | | | |
| 使用ソフト | AdobeCC、テキストエディタなど | | | | | | | | | |
| 学習到達目標 | 学部DP(番号表記) | 学生が到達すべき行動目標 | | | | | | | | |
| | 2 | どのような作品に掲載すれば自分の強みをアピールできるのか分析する。 | | | | | | | | |
| | 3 | 専門職への就職活動を見据え、積極的に取り組むことができる。 | | | | | | | | |
| | 4 | 具体的に面接に臨もうとする企業の特徴に合わせた構成とする。 | | | | | | | | |
| | 4 | 掲載する作品について、どのようなコンセプト、どういう技法で制作したのか説明する能力を身につける。 | | | | | | | | |
| | 5 | 希望する職種の求人案件の記載事項を調べる。 | | | | | | | | |
| 達成度評価 | 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 学部DP | 1.知識・理解 | | | | | | | | |
| | | 2.思考・判断 | | | | 10 | | 25 | | 35 |
| | | 3.態度 | | | | | | | 5 | 5 |
| | | 4.技能・表現 | | | | 30 | | 25 | | 55 |
| | | 5.関心・意欲 | | | | | | | 5 | 5 |
| | 総合評価割合 | | | | | 40 | | 50 | 10 | 100 |
| 評価の要点 | | | | | | | | | | |
| 評価方法 | | 評価の実施方法と注意点 | | | | | | | | |
| 試験 | | | | | | | | | | |

| | |
|-------------|---|
| 小テスト | |
| レポート | |
| 成果発表(口頭・実技) | 制作したポートフォリオを用いて面接を想定したプレゼンテーションを行ってもらい、自己アピール能力を評価する。 |
| 作品 | |
| ポートフォリオ | 制作したポートフォリオの完成度を評価する。 |
| その他 | 出席状況、授業態度を評価する。 |

授業明細表

| 授業回数 | 学習内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) |
|------|--|---------|-----------------------------|
| 第1回 | 【授業の趣旨説明、ポートフォリオに掲載する作品を制作し充実させる】 ・第1次ポートフォリオチェックからの取り組みを個別にヒアリング ・面談外の学生は、ポートフォリオに掲載する作品を制作 | 実習 | 授業課題以外の作品(自主制作)を増やすこと |
| 第2回 | 【第2次ポートフォリオチェックに向けてブラッシュアップ作業】 ・第1次ポートフォリオチェックからの取り組みを個別にヒアリング ・面談外の学生は、ポートフォリオに掲載する作品を制作 | 実習 | 授業課題以外の作品(自主制作)を増やすこと |
| 第3回 | 【第2次ポートフォリオチェックに向けてブラッシュアップ作業】 ・第1次ポートフォリオチェックからの取り組みを個別にヒアリング ・面談外の学生は、ポートフォリオに掲載する作品を制作 | 実習 | 授業課題以外の作品(自主制作)を増やすこと |
| 第4回 | 【第2次ポートフォリオチェック提出後、さらに改善、追加】 ・見せ方についての直し、作品の追加など個別面談で課題を抽出 ・面談外の学生は、ポートフォリオに掲載する作品を制作 | 実習 | 志望する業界、受けたい職種にアピールできる内容にする。 |
| 第5回 | 【第2次ポートフォリオチェック提出後、さらに改善、追加】 ・見せ方についての直し、作品の追加など個別面談で課題を抽出 ・面談外の学生は、ポートフォリオに掲載する作品を制作 | 実習 | 志望する業界、受けたい職種にアピールできる内容にする。 |
| 第6回 | 【第2次ポートフォリオチェック提出後、さらに改善、追加】 ・見せ方についての直し、作品の追加など個別面談で課題を抽出 ・面談外の学生は、ポートフォリオに掲載する作品を制作 | 実習 | 志望する業界、受けたい職種にアピールできる内容にする。 |
| 第7回 | 【第2次ポートフォリオチェック提出後、さらに改善、追加】 ・見せ方についての直し、作品の追加など個別面談で課題を抽出 ・面談外の学生は、ポートフォリオに掲載する作品を制作 | 実習 | 志望する業界、受けたい職種にアピールできる内容にする。 |
| 第8回 | 【作品の並び順、掲載作品の選別、制作意図などの見直し】 ・面接試験の際にアピールできるポートフォリオになっているか見直し ・必要に応じて個別面談 | 実習 | 具体的に、受験する企業にアピールできる内容か見直す。 |
| 第9回 | 【作品の並び順、掲載作品の選別、制作意図などの見直し】 ・面接試験の際にアピールできるポートフォリオになっているか見直し ・必要に応じて個別面談 | 実習 | 具体的に、受験する企業にアピールできる内容か見直す。 |
| 第10回 | 【作品の並び順、掲載作品の選別、制作意図などの見直し】 ・面接試験の際にアピールできるポートフォリオになっているか見直し ・必要に応じて個別面談 | 実習 | 具体的に、受験する企業にアピールできる内容か見直す。 |
| 第11回 | 【印刷／ファイリング】 ・完成した学生から教室で印刷する(用紙は配布、クリアファイルは持参) ・必要に応じて個別面談 | 実習 | ファイリングしたポートフォリオを1冊は用意する。 |

| | | | |
|------|---|----|--------------------------|
| 第12回 | 【印刷／ファイリング】 ・完成した学生から教室で印刷する(用紙は配布、クリアファイルは持参) ・必要に応じて個別面談 | 実習 | ファイリングしたポートフォリオを1冊は用意する。 |
| 第13回 | 【提出(PDF)】 ・これまでに取り組んだポートフォリオをPDF形式で提出 ・就活ように印刷したポートフォリオをファイリングしておく | 実習 | ファイリングしたポートフォリオを1冊は用意する。 |